

行事名	CAFEO32(内部開催 YEAFEO Meeting21)
日時	2014年11月10日～11月13日
場所	セドナホテル(ミャンマー、ヤンゴン)
参加者	公費: 豊田充洋技術士(機械)、竹入祐美子修習技術者(環境)、細野雄治修習技術者(機械) 私費: 安力川幸司技術士(電気電子、情報工学)、園家研一郎技術士補(航空・宇宙)、川崎大輔(機械)
担当者: (○印:リーダー)	○安力川、竹入、細野、豊田(記)
参加者数	約200名

1. 背景・目的

青年委員会の CAFEO/YEAFEO Meeting への参加は、ASEAN 諸国との交流による青年層の委員会活動の情報交換、青年層の国際意識向上および参加国エンジニア協会との2国間交流の実現を目的として、2003年度より継続されている。日本からは公費派遣者3名、私費参加者3名が、ミャンマー、ヤンゴンで開催されたCAFEO32(YEAFEO Meeting 21)に参加した。なお、YEAFEO Meeting には10カ国が参加した。(欠席:ラオス、ベトナム、ASEAN 以外の参加国:香港)

2. 派遣内容

2.1 準備

派遣準備として、以下6項目の準備を行った。

- ・ 目標設定(結団式) …… 青年委員会としての国際派遣目的を設定
- ・ 名刺作成 …… 国際派遣用の顔写真付き名刺を作成
- ・ ビザ取得、渡航準備、YEAFEO 参加登録
プレゼント選定・調達(各国代表) …… 観光ビザ取得、航空券及びホテル等の諸手続き
…… ASEAN 各国の代表とのプレゼント交換用
- ・ カントリーレポートプレゼンテーション作成 …… YEAFEO ミーティングでのプレゼンテーション用
- ・ 演舞検討・練習 …… クロージングパーティでの演舞用

2.2 参加

①日程は以下の通り。(添付資料①)

2014/11/9(日)	各自ヤンゴンへ移動
2014/11/10(月)	Arrival and Registration、Bowling、Welcoming Reception
2014/11/11(火)	Opening、CAFEO Meeting、YEAFEO Meeting、Dinner
2014/11/12(水)	Bago tour、Closing Ceremony
2014/11/13(木)	移動(各自帰国)

②YEAFEO での達成事項は以下の通り。

- ・ YEAFEO Meeting に参加した。
- ・ Bowling および Bago tour に参加し、各国参加者と交流を深めた。
- ・ YEAFEO Meeting において、日本国代表として Country Report を発表した。
- ・ Meeting 中および休憩中など、参加各国との意見交換を積極的に行った。
- ・ CAFEO Closing Ceremony において、日本文化紹介として空手および AKB48 の恋するフォーチュンクッキーを披露した。
- ・ 各国代表とのプレゼント交換において、日本から持参したプレゼントを手渡した。

3. 考察

3.1 成果

- ・ 各国参加者とは、各種イベントを通じ親密な関係となった。また、Facebook など連絡を取れる状況にあるため、今後も積極的な情報交換が可能である。
- ・ YEAFEO Meeting や Closing Ceremony では、日本の紹介を行い日本に関心をもってもらう機会を提供できた。

- ・参加者の国際感覚の向上および英語力向上において、自己啓発の良い機会となった。
- ・CAFEO 直前にマレーシアと2国間交流を実施したこともあり、マレーシアとは特に親密な交流を行うことができた。
- ・CAFEO 主催国は、学生のボランティアが多数参加しており、今回、日本から学生を派遣したことで学生同士の活発な交流ができ、将来に渡って有望な人脈を形成できた。
- ・昨年度の提案である「複数年参加」は、非常に良い成果をあげることができた。昨年知り合った開催国の参加者を通じてCAFEO参加登録などの諸手続きや事前の情報収集が容易にできた。また、現地での顔の見える交流が可能になり、より親密な関係を築くことができた。
- ・同様に昨年度提案の「女性の参加」は、ASEAN 各国に対し女性技術者の存在をアピールする良い機会となった。(ブルネイ、シンガポール以外の国は女性参加者有)

3.2 提案

今回の派遣から以下の3つの提案を行う。

①今後の派遣の在り方

優先度	項目	備考
最高	複数年参加	円滑な交流に大きく影響。
高	若手の参加	参加国は20歳代の若手が大多数。
高	女性の参加	参加国は女性技術者が多数参加。
高	人数増	5名程度に増員し、若手を広く募集。
中	英語上級者	最低1名はいたほうがよい。
中	委員長の参加	各国は委員長、副委員長がほとんど参加。
中	公費制度見直し	3名の公費派遣制度を撤廃し、公費の人数割り補填等。

②CAFE033 マレーシア

来年のCAFEOは、マレーシアが開催国である。現在、マレーシアIEMと日本YECは親密な関係にある。したがって、開催国との事前調整や人脈を形成するには絶好の機会であることは間違いない。また、ペナン島はアジア屈指の観光地であることに加えて渡航し易い場所であることから、国際経験の少ない方を積極的に勧誘し、派遣者数を増やしてはどうか。

③英語版 Facebook の運営

CAFEO関係者のコミュニケーションツールはFacebookが主体である。英語版Facebookを運営してはどうか。

3.3 引き継ぎ

- ・開催国に関する事前調査は必須である。(特に通信などのインフラ事情)
- ・宿泊先のホテルは、交通渋滞などを考慮してなるべく会場に近いところにすべきである。
- ・お土産は、国産のものに加えて、個人宛のものも用意すべきである。
- ・Closing Ceremonyでは、他国の小旗(国旗)と交換できるものを用意すべきである。

以 上

【添付資料①】CAFEO32/YEAFEO Meeting21 参加状況



Fig.1 CAFEO32 Welcoming Reception



Fig.2 Bowling event



Fig.3 YEAFEO Meeting



Fig.4 Country report



Fig.5 Exchange Souvenirs



Fig.6 Bago tour



Fig.7 Karate



Fig.8 Koi Suru Fortune Cookie



Fig.9 Closing Ceremony



Fig.10 JYEC Delegates



Fig.11 Dinner (11th Nov)



Fig.12 Bar (11th Nov)